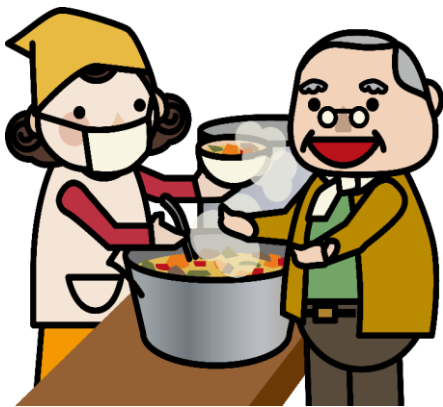


回覧

第2自治会防災通信

第4号のテーマは **"横浜市、区役所による備え（公助）"** です。

まず「**自分の命は自分で守る**」が大原則です。皆さん自身や皆さんのご家庭で出来る限りの震災への備えをしてください。その上で足りない部分を横浜市/泉区(公助)や地域・自治会(共助)に助けてもらうというのが正しい姿勢だと思います。今後の防災通信は各種"備え"について記載します。重要、役に立つと思われる情報はメモを取られることをお勧めします。



1. 地域防災拠点（西が岡小学校）

横浜市に震度5強以上の地震があった場合に設営

a) 地震のため自宅で住めなくなった人の避難場所

いつから開設かなどの情報は、自治会から会員の皆さんへは班長さんなどを通じてお報せする予定

b) 市、区からの情報や支援物資の受領場所

皆さんへ支援物資をどのようにお届けすかは調整中

c) 区役所から医者への派遣場所（医者は各防災拠点を巡回）

下記の震災時の医療施設参照

もし皆さんが地域防災拠点へ避難となった場合は、非常持ち出し袋、備蓄食料をもって避難して下さい。また防災拠点はホテルや旅館ではなく、みんなで運営していく場所なので防災拠点の設営・運営にできる限り積極的に参加してください。

2. 震災時の医療施設の備え

a) 近隣の拠点医療施設 : 国際親善病院、戸塚共立リハビリテーション病院（泉郵便局の隣）
重傷（症）者優先（命に係わる人の治療優先）、トリアージ（ふるい分け）採用

b) 防災拠点（西が岡小） : 泉区役所から医者への派遣

主に中傷（症）者、地震発生後半日以上後になる可能性（各防災拠点の巡回で来るので）

c) 治療のできる近所のクリニック、医院

黄色いのぼり旗がたつ。どこのクリニック、医院で治療できるかは状況による。

●区役所の推薦：重傷（症）者の場合は119に。携帯よりも公衆電話（西が岡自治会館横）がつながりやすい。救急車が来なくても電話口の人の指示に従うのがよい。

●第2自治会倉庫にけが人運搬用のリヤカーの備えがあります。

「第2自治会防災通信」5号は "続 横浜市、区役所による備え（公助）" です。

「第2自治会防災通信」に対する質問やコメントがありましたら、

メールアドレス： nishigaoka.dai2jichikai@outlook.jp

Fax : (045) 811-6769

までご連絡ください。

